

ニホンジカの食害でほぼ絶滅した高山植物を復元させた現場を学習する自然体験プログラムの旅（5名募集）

登山旅の目的	行程	講師	準備するもの
<p>かつては二重稜線に四季折々に咲き乱れていたこの山域のお花畑はニホンジカの食害により壊滅的な打撃を受けています。静岡県側には約20年に及ぶ粘り強い活動があり、高山植物を復活させた例があります。高山植物を守り復元させた静岡県側の現場（聖平）の防鹿柵の施行・管理の実際や復元効果の説明を受けるための自然体験プログラムの旅</p>	<p>9月9日（金）～11日（日）</p> <p>9日（金）8時集合（芝沢ゲート）</p> <p>9時 西沢渡発</p> <p>13時 聖平小屋着</p> <p>14時～16時 現場での学習</p> <p>20時 就寝</p> <p>10日（土）</p> <p>6時30分 聖岳に向け出発</p> <p>11時 聖岳登頂</p> <p>14時～16時 現場での学習</p> <p>20時 就寝</p> <p>11日（日）</p> <p>7時30分 聖平小屋を出発</p> <p>12時 芝沢ゲート 解散</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">天候により日程は臨機応変に対応します</p>	<p>鶴飼 一博 先生 （プロフィール）</p> <p>南アルプスにおけるニホンジカの食害対策活動のリーダー。静岡県の山岳会関係者を中心に「南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク」を立ち上げ、聖平、三伏峠、茶臼岳等に防鹿柵を設置し、着実に成果を挙げてきた。高山植物を復元させるモデル的な活動は環境省や長野県にも影響を与え、各地で同様の取り組みが開始される時のアドバイザー役を務めている。</p>	<p>登山の支度</p> <p>必ずシュラフを持参</p>

高山植物をニホンジカの食害から守る防鹿柵の施行作業写真（2008年9月4日）

